

このページは市民の皆さんと一緒に作るページです。投稿・登場をお待ちしています。秘書広報課（市役所内線207）

ふれあい広場

クローズアップ

今、「旬」の人や団体を紹介します。

西脇などの形成、通説に一石 西脇高校地学部以最優秀賞

西脇高校地学部が、9月13日（土）に鹿児島大学で開催された「日本地質学会第121年学術大会」において、兵庫県中南部の形成過程を調べた同部「マグマ分化班」の研究が最優秀賞に、加古川市南部の地盤の動きを調べた「都市環境班」の研究が優秀賞に輝きました。

西脇も火口の中にあっただけ？

マグマ分化班は、岡竜灘（加東市）がどのようにできたのかに注目。採取した岩石を分析した結果、その組成は火山灰が固まってできた凝灰岩であることが分かりました。班代表の吉良洋美さんは、見慣れた岡竜灘が火山灰でできていたことに驚き、研究は次第に「兵庫県中南部がどのように形成されたのか」というテーマに発展していきました。通説では、7〜8千万年前、巨大な火山の噴火口の北端が今の加西市あたりにあったとされています。部員たちは5月から8月にかけて、西脇市を中心に東西20キロ南北18キロの範囲で100カ所以上の岩場を調査。西脇で採取した岩石が凝灰岩であったことなどから「西脇は巨大火山のカルデラ（火山活動でできた凹地）内にあった。その後、西脇の地層が隆起して、長い年月の間に表面が削られた」と結論付けました。



日本地質学会学術大会の研究発表で最優秀賞 西脇高校地学部

南海トラフ地震への備えを提言

都市環境班は、昨年4月の地震で加古川市

南部の道路にあるマンホールの周りの亀裂に気付き、周辺地域のマンホールを丹念に調べ上げました。地面に埋まった円筒状のマンホールには力が均等に伝わっていることに気付いた部員たちは、亀裂の方向と大きさを地図上に記載。その結果、加古川市南部は軟弱な地盤であることが分かり、南海トラフ地震に備えて整備基準を設けるべきではないかと提言しました。マンホールを利用して地盤を効率的に調査する手法は、画期的であると高く評価されました。

7時間に及ぶ学会発表

日本地質学会では、会場に研究成果を展示し、代表生徒2人が大学教授などの質問に答えながら発表を行いました。それは、実に7時間に及んだそうです。発表当日の朝まで想定問答を部員同士で繰り返し、という吉良さんは「山に分け入って岩石を採取するなど苦労した研究なので、専門家の方から助言を頂けたのがうれしかった」と話しました。

足元から広がる世界

指導した顧問の川勝和哉先生は「高価な機器がなくても独創的な発想と、調査に労を惜しまないのがこの部の良さ」と話し、部員たちは「地学を通じて、多くの『知る楽しさ』を知った」と川勝先生に感謝しています。地学部は、10月に国内でも伝統ある「日本学生科学賞」で佳賞を、「東京理科大学坊っちゃん科学賞」で優良賞を受賞。「工学フォーラム2014」では、文部科学大臣賞を目指しています。今後の活躍が楽しみです。



部員が集めた凝灰岩。採取場所によって成分が異なる。左が西脇で採れたもの。

子育て奮闘記

子育て中の皆さんからのおたよりをご紹介します



「行ってきま〜す！」
保育園の門から保育室へと一直線に駆け出すわが家の一人娘。彼女が保育園に通い出してから半年が過ぎましたが、当初はそんな姿が想像もできませんでした。

は担任の先生だけが頼りで、姿が見えなくなるといつも泣いていたそうです。朝から、「今日も泣く！」と「泣く宣言」までして登園する日もありました。

の友人たちも驚くほどです。初めての運動会では、元氣いっぱい、力いっぱい！ 駆けっこにダンスに玉入れに、一生懸命な姿は涙なしで見ることができませんでした。まだまだ一人では何もできないと思ひ込み、すぐに手伝っていた自分自身の姿を反省しました。べったりだったのも私の方でした。親が思っている以上に、子どもは案外何でもできるものなんです。わずか半年でこれだけたくましく成長するなんて、すごい力だと思ひます。これからも、泣いて笑って多くの経験をしていく中で、心も体も成長していく娘を温かい目で見守っていききたいと思ひます。

子育て学習センターから

3歳児の母

あそびの広場（11月）
子どもたちに、手遊びや読み聞かせなどを行います。どなたでも参加できます（10時～正午）。

- あいいいランド
8日（土） ふぁみりープログラム
13日（木） ベビーの広場
22日（土） ふぁみりープログラム
（総合市民センター2階）
☎22-4150
- へそっこランド
20日（木） ベビーの広場
（黒田庄福祉センター3階）
☎28-5702
- 総合福祉センター（萩ヶ瀬会館）
11日（火） おしゃべり広場
◆問合せ 子育て学習センター
（☎28-5702/☎28-5703）

子どもたちは、私たち大人が思っている以上に、周りの環境の変化に敏感です。子どもたちなりに多くを感じ経験して成長していきます。周りにいる大人たちは、子どもが安心していろいろなことに挑戦できるように、見守り支えていきたいものですね。

市民の皆さんのまちづくり活動をご紹介します

みんなでまちづくり♪

比也野まつり

- ▼とき 11月3日（月・祝）午前10時〜午後2時
- ▼ところ こみせん比也野、駐車場周辺
- ▼内容 グルメコーナー、比延小学校校鼓笛隊の演奏、西脇東中学校音楽部の演奏など
- ▼主催 ええまち比也野里
- ▼問合せ こみせん比也野（☎240120）

日野の里ふれあいフェスティバル

- サンパル日野で活動されている皆さんの舞台発表や作品展示に加え、食のイベント、交流イベントなどさまざまな催しを予定しています。
- ▼とき 11月8日（土）、9日（日）午前10時〜
- ▼ところ サンパル日野、日野小学校体育館
- ▼主催 日野の里ふれあいフェスティバル実行委員会
- ▼問合せ サンパル日野（☎237393）

いきいきにしわきっ子



まこと ことね
山岡 真琴 琴音
7歳4カ月 4歳5カ月
健一・和美（野村町）
元気いっぱい明るく育ててね！

いきいきにしわきっ子を募集しています。写真と紹介文、連絡先を市役所2F秘書広報課へ郵送またはご持参ください。